



先芯の入った安全靴・作業靴には、

「**JIS** (日本工業規格)」と「**JSAA** (公益社団法人日本保安用品協会)」が定める

2つの規格があります。それぞれ安全性と耐久性を測る試験をし、**JIS合格品**を**[安全靴]**、

JSAA認定品を**[プロテクティブスニーカー(プロスニーカー)]**と呼んでいます。

JIS合格品と**JSAA認定品**との大きな違いは使用できる**素材**と**耐久性**です。

JIS合格品※は甲被が革製または総ゴム製(安全長靴など)に限られ、

人工皮革製が多いJSAA認定品と比べ甲被の耐久性も高く、はく離抵抗の試験においても

人工皮革製の**JSAA認定品**より高い耐久性が求められます。

※JIS T8101の場合



「JIS」と「JSAA」の主な違い

	認定方法	甲被素材	特長
 <p>JIS 合格品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①定められた材料を使用する事 ②JIS認可工場で製造する事 ③完成品性能をクリアする事 	<p>革製が主流</p> <p>甲被の素材は革製の他、長靴等には総ゴム製も認められている。 革の厚さにも基準があり、耐久性も優秀。</p>	<p>JSAAと比べ素材の耐久性、表底のはく離抵抗などより厳しい基準をクリアしている。</p>
 <p>JSAA 認定品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①定められた材料を使用する事 ②完成品性能をクリアする事 	<p>人工皮革製が主流</p> <p>人工皮革の他、革製、合成皮革製、編物、プラスチック製、ゴム製が認められてるが、多くのJSAA認定品は人工皮革製。</p>	<p>JISと比べ耐久性は劣るが人工皮革製の為デザイン性が高く軽量でフットワークが良い。</p>



JISとは我が国の工業標準化の促進を目的とする工業標準化法に基づき制定される国家規格です。耐圧迫性、耐衝撃性、表底のはく離抵抗の安全規定が定められています。JIS規格の定める安全性をクリアした靴を「安全靴」と呼びます。JIS規格には主につま先の保護を備えた「JIS T8101 安全靴」と静電気帯電防止性能を備えた「JIS T8103 静電気帯電防止靴」があります。

JIS規格T8101安全靴の基本性能試験
試験条件により、重作業用(H種)、普通作業用(S種)、軽作業用(L種)がある

先芯の耐衝撃性能	先芯の耐圧迫性能	表底のはく離抵抗
----------	----------	----------



付加的性能

甲プロテクタの耐衝撃性	かかと部の衝撃エネルギー吸収性	耐踏抜き性	耐滑性
-------------	-----------------	-------	-----

JIS T8101
(安全靴)

「主として着用者のつま先を先芯によって防護し、滑り止めを備える靴」と定義されており、規定の材料を使用しJIS認可工場で製造した靴で上記の試験にクリアした靴。

JIS T8103
(静電気帯電防止靴)

人体への静電気帯電のために起こる爆発、火災のような事故及び災害、ならびに製品の汚れなど生産への悪影響を防止するために、工場などで働く作業者が使用する靴についての規格です。JIS T8103はクリアする電気抵抗値により「一般静電靴」、「特種静電靴」、「導電靴」があります。



つま先に金属や硬質樹脂先芯を装着し、(公社)日本保安用品協会が定めた安全性や耐久性の認定基準を満たしているスニーカータイプの安全作業靴をJSAA認定とし品質を保証しています。

JSAA認定プロテクティブスニーカーの性能試験
試験条件により、普通作業用(A種)、軽作業用(B種)がある

先芯の耐衝撃性能	先芯の耐圧迫性能	表底のはく離抵抗
----------	----------	----------



付加的性能

かかと部の衝撃エネルギー吸収性	耐踏抜き性	耐滑性	帯電防止性能
-----------------	-------	-----	--------

プロテクティブスニーカー

プロテクティブスニーカーの基本性能として「耐衝撃性」、「耐圧迫性」、「表底のはく離抵抗性能」の3つの安全性能項目にJIS規格値に準じた基準値を設けるとともに、さらに付加的性能として「かかと部の衝撃エネルギー吸収性」、「耐踏抜き性」、「耐滑性」、「帯電防止性能」があります。